

PaletteIDE 操作説明書

改版：2020/7/14
株式会社イーケイジャパン

1. ソフトウェア使用規約

PaletteIDE(以下、本ソフトウェア)は株式会社イーケイジャパン(以下、当社)の著作物です。

本ソフトウェアは、以下の内容に同意いただけるかぎりにおいて、どなたにも無償で使用いただくことができます。

本ソフトウェアは、「現状のまま」で提供され、当社は、明示的・暗黙的な一切の保証をいたしません。当社は、本ソフトウェアに起因または関連する事項、本ソフトウェアの使用、またはその扱いによって生じる一切の請求、損害、その他の義務について責任を負わないものとします。

本ソフトウェアの仕様は予告なく変更されることがあります。また、本ソフトウェアの公開は予告なく停止されることがあります。

2-1. Windows版 動作環境

- ・ Windows8、Windows8.1、Windows10 が正常に動作するPC
- ・ USB2.0規格に準じたポートを有すること
- ・ キット付属のUSBケーブルを使用する場合は、フルサイズタイプAコネクタを備えること
- ・ 音声再生機能を使用するには、ソフトウェアMIDIの再生ができること
- ・ タッチパネルに対応していないPC上で操作する場合には、キーボード、マウス(またはトラックパッド等のポインティングデバイス)を有すること

※上記の環境全てにおいて動作を保証するものではありません。

2-2. MacOS版 動作環境

- ・ MacOS10.10 ~ 10.15 が正常に動作するMac
- ・ USB2.0規格に準じたポートを有すること
- ・ キット付属のUSBケーブルを使用する場合は、フルサイズタイプAコネクタを備えること
- ・ トラックパッド、マウス、またはこれらに準じるポインティングデバイス

※上記の環境全てにおいて動作を保証するものではありません。

3-1. Windows版 インストール

ソフトウェア配布ページ(<https://www.elekit.co.jp/software/SW-1017>)より、「palette_win_V1_5_0.zip」をダウンロードします。

※バージョンにより、ファイル名のV以下、**数字部分**が異なります。

ダウンロードしたzipファイルをPCの任意の場所(デスクトップ、マイドキュメント、リムーバブルディスクなど)に展開します。

展開後にできあがったフォルダの中の、「palette.exe」がソフトウェア本体です。必要に応じてショートカットを作成してください。

※ソフトウェア本体は、OSの設定によっては、拡張子「.exe」が表示されず、「palette」という表示になっていることがあります。

※同じフォルダの中に、ソフトウェア本体以外のファイルやフォルダが置かれていますが、ソフトウェアの動作に必要なものですから、**削除・移動・名前の変更をしないでください**。

3-2. MacOS版 インストール

ソフトウェア配布ページ(<https://www.elekit.co.jp/software/SW-1017>)より、「palette_mac_V1_5_0.zip」をダウンロードします。

※バージョンにより、ファイル名のV以下、**数字部分**が異なります。

ダウンロードしたzipファイルを展開すると「palette」という名前のアプリケーションができあがります。なお、Safariを使って上記のzipファイルをダウンロードした場合、自動的に展開されます(デフォルト設定の場合)。

展開後の「palette」は任意の場所(デスクトップ、ホームフォルダ、リムーバブルディスクなど)に置くことができます。

Launchpadに登録するには、ホームフォルダ内の「アプリケーション」フォルダ内に、「palette」を置きます。

4-1. Windows版 アンインストール

インストール時に作成されたフォルダを削除します。

ショートカットを作成した場合は、そのショートカットも削除します。

4-2. MacOS版 アンインストール

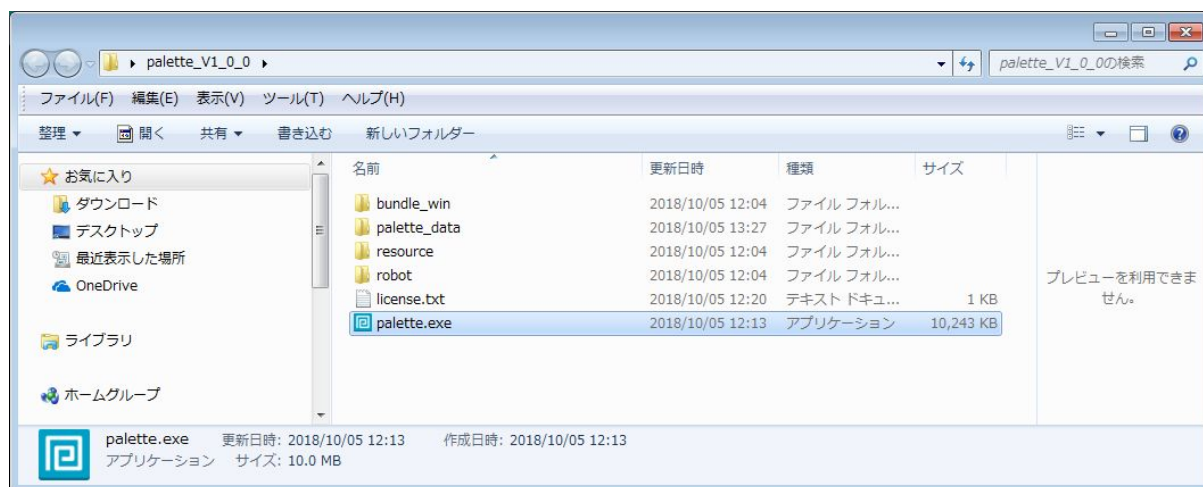
インストール時に作成されたアプリケーションパッケージを削除します。

またユーザーフォルダ内に「palette_data」というフォルダが作成され、PaletteIDEで作成したプログラムファイルが保存されていますので、このフォルダも削除します。

5-1. Windows版 起動

インストール時に作成されたフォルダのなかの、「palette.exe※」をダブルクリックします。

※OSの設定によっては、拡張子「.exe」が表示されず、「palette」という表示になっていることがあります。



※以下のような警告が表示されて、ソフトウェアが起動しない場合は、インストール時に作成されたフォルダ内の、ソフトウェア本体以外のフォルダまたはファイルが削除・移動・名前が変更されているか、ソフトウェア本体は、インストール時に作成されたフォルダから別の場所に移動されている可能性があります。

インストール時に作成されたフォルダの中の、ソフトウェア本体以外のファイルやフォルダは、ソフトウェアの動作に必要なものですから、削除・移動・名前の変更をしないでください。

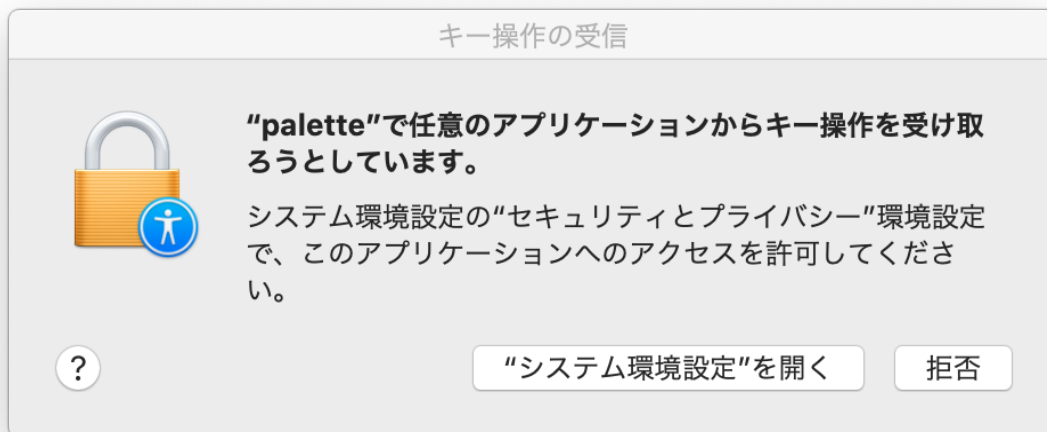


※Windowsやウィルス対策ソフトの設定によっては、弊社が提供するソフトウェアに限らず、ダウンロードや実行がブロックされたり、警告が表示されたりすることがあるようです。Windowsやウィルス対策ソフトの設定を見直した上でもう一度お試しください。

3-3. MacOS版 起動

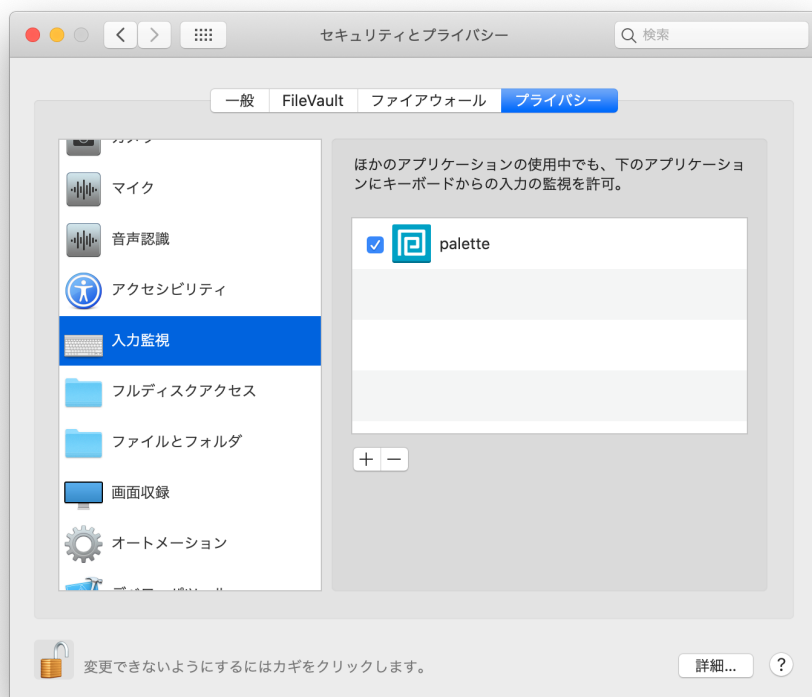
インストール時に作成されたアプリケーションをダブルタップ(Lauchpadに登録した場合はシングルタップ)して起動します。

MacOS 10.15 Catalinaで使用する場合、PaletteIDEの初回起動時に、次のようなダイアログが表示されます。



このダイアログが表示されたら、「システム環境設定を開く」を押して設定画面に進みます。

下の設定画面が表示されたら、paletteアイコン左のチェックマークをON(☑)にして、paletteによる入力監視を許可します。この操作を行うには管理者権限が必要です。



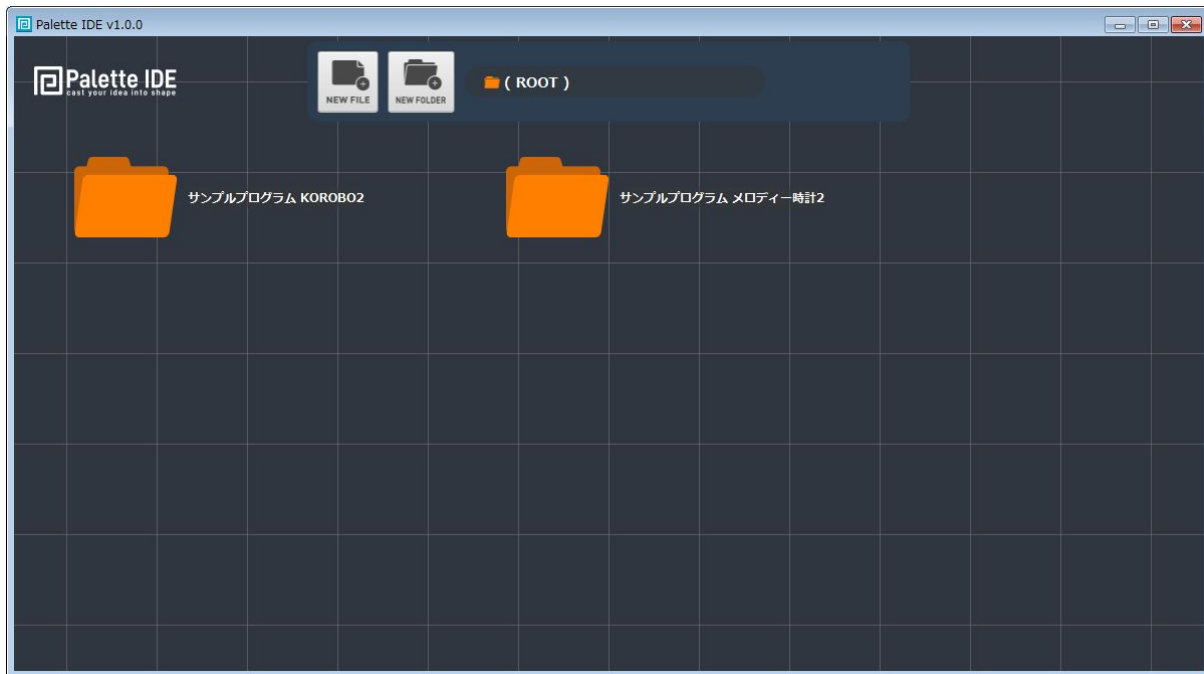
チェックマークをON(☑)にすると、設定を反映させるためには一旦アプリケーションを終了する必要がある旨のダイアログが出るので、「今すぐ終了」を押します。



上記の設定は、PaletteIDEの初回起動時に1回のみ必要です。
また、この設定を行わないと、ロボットへのプログラム転送をすることができません。

6. プログラム一覧画面

起動後、次のような画面が表示されます。この画面を「**プログラム一覧画面**」と呼びます。
「プログラム一覧画面」では、プログラムやフォルダを新しく作成したり、名前を変更したり、整理したりすることができます。



6.1 プログラムの新規作成

画面上部の「NEW FILE」ボタンを押します。

「**ロボット選択ダイアログ**」が表示されるので、左右のボタンを押して、プログラミング対象となるロボットを選びます。ロボットが決まったら右下の「OK」ボタンを押します。



「**プログラム詳細ダイアログ**」が開くので、「プログラムの名前」、「つくった人」、「プログラムの説明」を入力します。



「プログラミングをはじめる」ボタンを押して、プログラム編集画面に移動します。

プログラム編集画面でのプログラミングについては、各キットのドキュメントを参照してください。

[KOROBO2のプログラミングマニュアル\(基本編\)](#)

[KOROBO2のプログラミングマニュアル\(応用編\)](#)

[メロディー時計2のPaletteIDE操作説明書](#)

[ファブウォーカーのプログラミングマニュアル](#)

[KOROBO LiteのPaletteIDE操作説明書](#)

[プログラミング・フォロ for PaletteIDEのプログラミングガイド](#)

6.2 既存プログラムの編集

編集したいプログラムのバナーをダブルタップ(マウスの場合はダブルクリック)します。

「プログラム詳細ダイアログ」が開くので、「プログラミングをはじめる」ボタンを押して、プログラム編集画面に移動します。

6.3 フォルダの新規作成

画面上部の「NEW FOLDER」ボタンを押します。

「フォルダ名入力ダイアログ」が開くので、フォルダの名前を入力して「OK」ボタンを押します。



6.4 既存フォルダを開く / フォルダ間の移動

開きたいフォルダのアイコンをダブルタップ(マウスの場合はダブルクリック)します。

※フォルダ名をダブルタップするとフォルダ名入力ダイアログが開きますので、「アイコン」部分をダブルタップしてください。

既存フォルダを開いた後、上位のフォルダに戻りたいときは、画面上部のフォルダツリー上の上位フォルダ名をタップします。

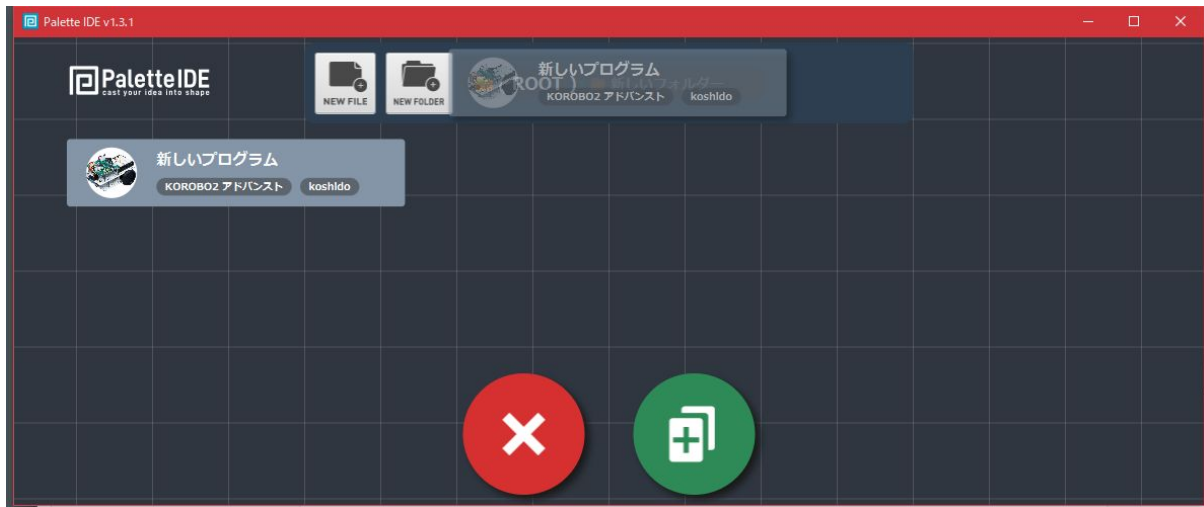
6.5 既存フォルダの名前変更

開きたいフォルダの名前をダブルタップ(マウスの場合はダブルクリック)します。

フォルダ名入力ダイアログが開くので、フォルダの名前を入力して「OK」ボタンを押します。

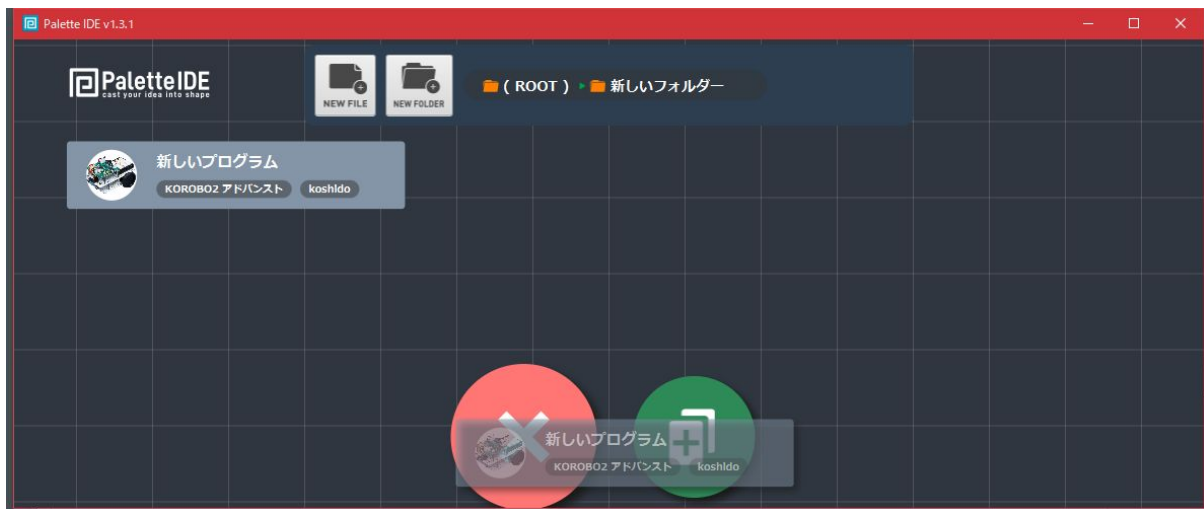
6.6 既存プログラム、既存フォルダの移動

ドラッグして、他のフォルダのアイコン上でドロップします。上位のフォルダに移動したいときは、画面上部のフォルダツリー上の該当フォルダ上でドロップします。



6.7 既存プログラム、既存フォルダの削除

ドラッグを始めると、画面下部に「削除ターゲット」(赤の丸)と「複製ターゲット」(緑の丸)が表示されます。削除ターゲット上でドロップして削除します。



6.8 既存プログラムの複製

既存のファイルを複製したいときは、ドラッグして「複製ターゲット(緑の丸)」の上でドロップします。複製されたファイルの「プログラム詳細ダイアログ」が開くので、「プログラムの名前」、「つくった人」、「プログラムの説明」を適宜編集します。

